

細江カトリック教会だより

10月号

〒750-0016 下関市細江町1-9-15

☎083-222-2294

☎083-222-0970

ホームページ <http://hosoechurch.sakura.ne.jp>

ロザリオの月によせて

二年前、韓国で働いているベトナム人労働者、特にカトリックの若者たちと、感謝のミサを捧げるために、韓国に三日間の旅行をしました。電車に乗っていたとき、珍しい姿が目に入りました。それは一生懸命ロザリオを唱えている韓国人のお婆さんの姿でした。聖母マリアに対して、このように熱心にロザリオを唱える姿は最近あまり見られなくなった気がします。ロザリオの祈りのための数珠は色々な形で綺麗に作られています。数珠を持っている人は多いが、それを用いて祈る人が少ないのではないかと思います。

さて、10月という聖母マリアのロザリオの月を迎えました。聖母マリアの月は年二回行われています。5月は聖母マリアへの献花の月、そして10月はロザリオの月という風に言われています。聖母マリアへの信心が教会の中で伝統的に広く親しまれてきました。特にロザリオという祈りは、伝統的な形式では、救い主イエス・キリストとその母マリアの喜び・苦しみ・栄え・光(教皇ヨハネ・パウロ2世により、主イエスの公生活の五つの秘義が「光の秘義」と呼ばれ、新しい環として加えられた)の秘義の黙想を行いながら、アヴェ・マリアの祈りを繰り返し唱えるのです。ロザリオは聖母マリアとともに主イエス・キリストによる救いの秘義を思い巡らし、父なる神に賛美と感謝を捧げる祈りです。

1917年に、聖母マリアはファティマに住む三人の子供の前に出現され、その御手には、ロザリオを持っておられました。その聖母マリアのメッセージの中で、肉欲や傲慢など現世的な罪からの回心、同時に世界の平和のためにロザリオを唱えることが求められています。それで、ロザリオの祈りの信心が一層盛んとなりました。そして、教皇レオ13世はロザリオに関して16の回勅や教書を発布しました。また、彼は10月をロザリオの月とし、ロザリオの祝日の等級を高めました。後に続く教皇は、聖母マリアへの崇敬について、特に

ロザリオの祈りの信心を使徒的回勅や使徒的書簡などにおいて深く呼びかけ求めています。教皇ヨハネ・パウロ二世は、2002年10月から2003年10月までを

「ロザリオの年」と宣言し、各教会共同体での司牧計画に生かされるよう求めました。これは霊的・司牧的必要性を考慮して実践できるものではないかと思えます。

ロザリオは現代に、また、世の終わりまで有用な祈りです。ロザリオに関する有名な教皇の言葉を紹介いたします。「聖きロザリオ生命の木で、死人を甦らし、病人を癒し、健康を保存する」(15世紀、ニコラウス5世)。また、「この祈りは、キリスト教の敵に対して、童貞マリアの保護を願うために制定されたので、我々は、これを祈って勝利を得るであろう。信者らの信心と、現今の公の必要事のために、この祈り方が拡ま



り、キリスト信者の家庭で、毎日ロザリオを唱えるようにするのが肝要である(19世紀、レオ13世)。それから、「あなたが、この所属教会のロザリオの祈りに参列する習慣を失わないようにしなさい。もし、仕事が妨げるなら、家庭で家族と一緒に祈って下さい」(20世紀、聖ピオ10世)。

ロザリオは非常に簡単な祈りですが、信仰による大きな効果を得ることができるのです。聖母マリアとともに主イエスの救いの業を黙想しながら、主イエスとの繋がりが深められ、魂が罪から救われ、あらゆる危険から助けられる祈りです。皆さん、ロザリオの祈りをよく唱えていますか。教会あるいは家にいるときだけでなく、外出して道を歩きながら、電車の中で、またバスを待っている間など、いつでもどこでもロザリオを用いてお祈りしましょう。

ディン神父



地区だより VI

本町地区

本町地区では少し教会にご無沙汰という方々に年三回(6月、10月、2月)教区報、月報等と共に共同体の現状のお知らせをする事を始めて四年目を迎えました。

この間、ご転居先不明、ご逝去等が判明した方々の事を事務所にお届けできました。また、数名ながら心待ちにしてくださいくださる方々との交流を続けております。

小さな取り組みではありますが、「継続は力なり」の格言が頼みの綱です。

細江共同体の一員であるという意識を保持し、主の示された道を、喜びの中に共に歩いて行くことを願っている次第です。

榎谷 紀子

通夜・葬儀研修会 8/17(土)

山口・島根地区「通夜・葬儀担当者」研修会で、柴田神父様は、午前中に、

I. どのように「おくる」のか?

映画と番組から考えます

II. 通夜・告別式の例

の順で研修を進めて下さいました。

午後の全体会では、「心に残る通夜・葬儀をしていただきたい」と結ばれたように記憶しています。

午前中の研修は「心に残る通夜・葬儀」に向かっていたのだと思いました。

IIでは、「生きているときよりも、今の方が身近に感じられる」という不思議な感覚により、「からだの復活の信仰」が前より分かった様な気がするということや、わだかまりをゆるし、和解に変わる世界に入っていくことや、「亡くなられた人が今も生きている」というのは、影響を受け続けることを言うのでしよう、ということも紹介して下さいました。

Iでは、ご遺体に対して、生きている人に語りかけるような敬意に満ちた映像、ご遺族の苦しみを分かち合うように心から寄り添う映像を、また、高い技術を持った納棺師の優しい愛情に満ちた映像、さらに、火葬場の人が未来に向けた言葉を語る映像等々、そして、ご遺族の果たせなかった思いをどうするか?と一所懸命に考え、残された人の新しい人生が始まる、その時に、前を向いて自立して生きていって欲しい、という思いを形にしていく、納棺師の番組を紹介して下さいました。

どう生きるか学びました。

三村 隆治



中井神父さまによる

社会教説の集い 9/8 (日)



今回は広島教区の社会へのチャレンジの基盤となる教皇フランシスコの「ラウダト・シ」を駆け足で読み、皆で考えました。

今地球で起こっている、Ⅰ汚染と気候変動、汚染、廃棄物、使い捨て文化 Ⅱ水問題 Ⅲ生物多様性の喪失 Ⅳ生活の質の低下と社会の崩壊 Ⅴ地球規模の不平等 Ⅵ反応の鈍さ等に痛みをもって気付く事、世界に起きていることを自分自身の個性的な苦しみとする事、そして一人ひとりがそれについて出来る事を見付け出し、取り組む事が今私たちに求められている事です。

具体的な姿勢のひとつとして、教皇さまは食前食後に手をとめて神に感謝を捧げる美しく意義深い習慣に立ち帰る事を勧めておられます。これは私たちの命が神の手の中にあるという事を思い起させてくれます。それは、被造物という贈り物への感謝の思いを強め、それを提供してくれる人々の労働をありがたく思い、困窮の極みにある人々との連帯を再確認する事なのです。

一日六回、意識してこの祈りを捧げる事に取り組んでいきましょう。

榎谷 紀子

敬老祝福 9/15 (日)



秋のお花畑を感じさせてくれる「コスモス」。愛らしく咲く姿に郷愁を感じる季節となりました。

敬老会の祝日はホールで、ささやかな祝賀会をいたしました。

当日 48 名の方が出席して下さいました。作道神父さまのご挨拶から始まり 90 歳以上の方は、手を挙げて下さいと言われると「はい」と大きな声で答えられたのが 91 歳細江地区 広崎泰三さまでした。そのお姿は「穏やかな表情」で周りの皆さまも笑顔一杯でした。久しぶりにお会いできた方、懐かしくお話がはずむ姿を観て、「神さまと共に歩き・教会で共に働いた仲間」だなあ-と気づかされます。たくさんの種をまき、細江教会「実りの福音宣教」であったと言えます。77 歳～99 歳迄の信徒のみなさまが 130 名いらしゃいます。細江教会を支えて下さっている事に改めて「知る・みつめる」ことができました。本当にありがとうございました。感謝申しあげます。

敬老会担当後田地区 吉本 サチ子

~~~~~  
\*敬老会に出席して下さった方から感想文をいただきました。ご紹介いたします。

~~~~~  
*「神に感謝」本日このような敬老の日の祝賀会に参列出来ました事は、まさに神に感謝です。ともうしますのも9年前横断歩道を歩行中に、事故に遭い10カ月間入院生活、宇部医大の3カ月間は意識不明の危篤状態、宇部教会からアレックス神父さまが毎日のように来て祈って下さったとの事を後日娘から聞かされました。退院時も「一生車椅子生活ですよ」と言い渡されたにも関わらず現在も多くの後遺症に悩まされながらも、左手に介助を受けながら杖で歩けるまでに回復出来た事は、私にとって奇跡としか言いようがありません。神様に感謝と同時にみなさまの祈りに感謝の一言です。ありがとうございました。

* 敬老会では、温かいおもてなしに与り感謝しております。その節、折角の自己紹介が、難聴の私達には聞きとれなかったのが少し残念に存じました。長く生きているだけで、神父さまに祝福され皆様からは沢山のご厚情を頂き、嬉しく、有難く、恐縮いたしました。心よりお礼申し上げます。

教区の日 9/16 (月)



林尚志神父さま、
司祭叙階50周年
おめでとうございます！

修復が終わった広島世界平和記念聖堂にて司祭・修道者のダイヤモンド・金銀祝が行われました。

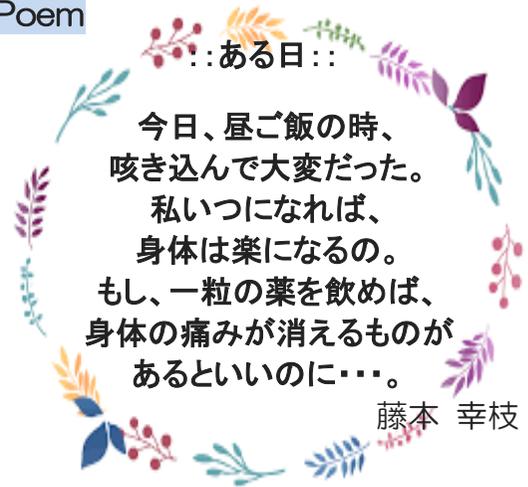
労働教育センターで社会司牧されている林尚志神父さまが、金祝の祝福をお受けになりました。

神父さまのおことばで、「ひとかけらの信仰があれば・・・」と言われたことばが印象に残っており、私を含めて参列された方々の心にも響いたことでしょう。いつもの林(節)を少し抑えられていたように感じましたが、お元気なお姿を拝見し安心いたしました。

これからもいつまでもその熱意で私たちを目覚めさせてください。心の鈍い私のためにも。

近藤 かつみ

Poem



ある日：
今日、昼ご飯の時、
咳き込んで大変だった。
私いつになれば、
身体は楽になるの。
もし、一粒の薬を飲めば、
身体の痛みが消えるものが
あるといいのに・・・。

藤本 幸枝

紹介します！

みなさん、こんにちは。梅光学院大学に通っている3年の真浦幸音（まうらゆきね）です。よろしくお願ひします。

昨年の12月から下関で一人暮らしをすることになって、こちらの細江教会に12月からひっそりと通っておりました。人見知りもあってなかなか話しかけられないところがあるので、話しかけてくださると嬉しいです。

現在、大学では子ども学部にも所属しています。そこでは教育系の勉強をしており、将来は小学校の先生になりたいと思い頑張っています。

若い力を生かして教会のために、神さまのために仕えたいと思っています。今後ともどうぞよろしくお願ひします。

後田地区 真浦 幸音

ご協力ください！

10月27日(日) ペトロ祭

12:00~14:30

細江教会フェスティバル

神さまの恵みに感謝し、みんなで楽しい午後のひと時を過ごせますように・・・

一般の方々、もちろん長府教会彦島教会の皆さまが集ってくださいます。